

「年寄りには早く死ねと言うのか」



後期高齢者(75歳以上)医療制度に怒りの声 次々

いま公民館で「後期高齢者医療制度」の説明会が開かれています。どこでも参加者から不安と怒りの声があがっています。

自民・公明政権が4月から始めようとしているこの制度は、75歳以上のすべての人をこれまでの医療保険から外して移行させるものです。ヨーロッパをはじめ「国民皆保険」の国で、そんな制度をもった国は世界に一つもありません。

高い保険料、年金から天引き？

後期高齢者医療制度の問題の一つは、保険料です。その額は都道府県ごとに決まりますが、福岡県は全国一高くなっています(平均的年金収入の単身世帯で8万5100円)。

しかも保険料は年金から「天引き」され、2年ごとに自動的に引きあげることまで決まっています。保険料を滞納したら、保険証がとりあげられる仕組みです。

年金は減るのに税金や介護の負担が増え、灯油、食品、日用品まで値上げラッシュ。こんな時に、高齢者の負担をまた増やす。あまりにも冷酷です。

(ウラへ続く)

地域説明会での市民からの質問など

(福岡市保健福祉局資料より)

- この制度はいつどうやって決まったのか。
- 制度の凍結、中止を希望する。
- 福岡県広域連合の保険料が高いのはなぜか。
- 保険料を年金天引きとするのはなぜか。
- 具体的に自分の保険料がいくらになるのか。
- 制度が難しく、説明がわかりにくかった。
- 単なる制度説明の場ではなく、もっと議論する場とすべき。

後期高齢者医療制度 今からでも実施中止を

これまでどおりの治療が受けられない？

もう一つの問題が「差別医療」。75歳以上の人に対する医療の診療報酬が変えられ、上限も定められます。手厚い治療をすればするほど病院が赤字になってしまつたので、結果的に受けられる治療やもらえる薬が制限されることになります。

また、政府は「在宅死」の推進と称して入院患者の追いだしをすすめています。

小手先の「手直し」では解決しない

政府は、現在扶養されている高齢者の保険料負担を半年先送りにするなどの一部「手直し」で4月実施を強行しようとしています。お年寄りを差別する医療制度という根本問題は解決しません。

一生懸命働いて戦後の社会を築いてきた高齢者が「長生きしても良いことない」と嘆くような制度をこのまま実施させるわけにはいきません。

日本共産党は、実施中止の一点で、市民のみならずと力をあわせてがんばります。



問い合わせ先

○ 福岡県後期高齢者医療広域連合

092-651-3111

○ 福岡市担当窓口

東 区 645-1102

城南区 833-4123

博多区 419-1118

早良区 833-4372

中央区 718-1124

西 区 895-7090

南 区 559-5152

医療予算ふやせ

年をとっても誰もが安心して医療を受けられるよう、国も市も医療予算を増やすべきです。ムダづかいをやめ、減税をうけて大もうけの大企業に社会的責任にふさわしい負担を求めれば、財源は生まれます。

中止求める意見書 自・公・民が否決

全国の地方議会で政府に後期高齢者医療制度の実施中止を求める意見書があがっています。福岡市議会では日本共産党市議団が提案したものの、自民、公明、民主の反対で否決されました。

日本共産党福岡市議団

福岡市議会ニュース

1023号 2008年2月 福岡市中央区天神1-8-1市議会11階 電話092-711-4734
ご意見・ご要望をお寄せください。 <http://www.jcp-fukuoka.jp>